

第8期 第3回磐田市環境市民会議次第

日時：令和3年7月30日（金）午後2時～

場所：磐田市役所西庁舎3階 304.305 会議室

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 令和2年度環境基本計画進捗状況について

(2) 基本方針に関する意見交換

基本方針4 3Rの取組や環境にやさしい消費行動を推進します

基本方針5 地球温暖化対策に取り組みます

基本方針6 環境教育を推進します

(3) その他

4 閉会

第2次環境基本計画 進捗状況（令和2年3月末）

環境指標	担当課	指標の内容	(2022)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	担当課意見記入欄
			R4 目標値	H28 現状	H29 達成状況	H30 達成状況	R1 達成状況	R2 達成状況	
基本方針1 暮らしやすさが実感できる環境をつくります									
水質に係る環境基準達成率	環境課	河川（環境基準の類型指定がある地点）におけるBODに関する環境基準を達成した測定地点の割合※BOD（生物化学的酸素要求量）	100%	100%	100%	100%	100%	100%	磐田市内の測定地点では、すべて基準を満たしていた。
大気に係る環境基準達成率	環境課	二氧化硫（SO2）、二酸化窒素（NO2）、浮遊粒子状物質（SPM）、微小粒子状物質（PM2.5）に関する環境基準を達成した測定地点の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	磐田市内の測定地点では、すべて基準を満たしていた。
汚水処理人口普及率	上下水道 総務課	し尿・生活雑排水の処理人口（公共下水道+農業集落排水+合併処理浄化槽）/住民基本台帳登録人口	93.48% (H33)	88.80%	89.40%	89.88%	90.63%	90.92%	磐南処理区と豊岡処理区合わせて720戸、37.99ヘクタールで下水道の供用を開始した。また、合併処理浄化槽の新設及び切替による補助金を84件交付し、普及率は微増となった。
基本方針2 豊かな自然環境を守ります									
市民一人当たりの都市公園等面積	都市整備課	都市公園等の市民一人当たりの確保量※都市公園等：都市公園、民間開発等により開設された公園、交流センター、学校等のグラウンド、市民農園等※目標値は「磐田市緑の基本計画」に準ずる	※21.27㎡ (H38)	15.52㎡	15.58㎡	15.59㎡	15.61㎡	15.67㎡	0.06㎡の増加となりました。分母は令和3年3月31日時点の人口169,013人ですので、総面積2,648,100㎡です。
市内の耕作放棄地面積	農林水産課	市内における耕作放棄地の面積※耕作放棄地：農作物が1年以上作付けされず、農家が今後数年の間に再び耕作する意志のない農地（田畑、果樹園）	93.0ha	98.33ha	84.8ha	99.0ha	99.4ha	92.1ha	7.3haの減少となった。令和2年度は減少となったが、増減を繰り返しているため、再生できる農地は、荒廃農地再生事業補助金等を利用し農地としての利用を推進し、農地として維持できない山間部などは山林と判断し、農地から除外を行い、正確な状況把握に努めていく。
ベッコウトンボ定量調査発生数	環境課	ベッコウトンボ個体数調査で確認された頭数※ベッコウトンボ：環境省第4次レッドリストにおいて絶滅危惧ⅠA類に指定されており、自然環境保護のシンボルとして磐田市の昆虫として選定されている	200頭以上	253頭	171頭	91頭	102頭	23頭	前年度に比べ、数は減少した。桶ヶ谷沼の区域別に保全計画を策定する事業を進めている。
基本方針3 自然・歴史文化とふれあう機会をつくります									
自然観察会等への参加人数	環境課	自然観察会や体験教室、環境保全啓発行事等への参加人数	700人	586人	778人	1,184人	915人	173人	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止や参加人数を絞った関係で、大幅に減少した。
歴史文化とふれあう市の施策に「満足」している市民の割合	文化財課	普及啓発のための企画展等で実施するアンケート調査において、「満足」「良かった」等肯定的な回答の割合	90%以上	83.80%	92.40%	91.20%	96.30%	84.60%	令和2年度は例年に比べ数値は下がり、目標値にも達成できなかった。企画展等の参観人数は昨年度より増加しており、企画展等の内容は充実したものであったと考える。引き続き魅力のあるテーマの設定や、分かりやすい解説を心掛け、市民の満足度を向上させる。
文化財関係施設への入館者数	文化財課	旧見付学校・旧赤松家記念館・埋蔵文化財センター・竜洋郷土資料館・豊岡農村民俗資料館の入場者数の合計/年	48,500人 (H33)	41,010人	41,912人	37,636人	37,951人	25,251人	令和2年度は前年度比12,700人減、25,251人となった。令和2年度はコロナ禍での外出自粛の影響も想定され、令和3年度に目標値を達成できる見込みは少ない。(埋蔵文化財センター以外の施設は、4月20日から5月17日まで閉館)
基本方針4 3Rの取組みや環境にやさしい消費行動を推進します									
1人1日当たりごみ排出量	ごみ対策課	一般廃棄物総排出量/365日/人口（※資源集団回収量を含まない）※一般廃棄物：家庭から排出されるごみと、事業活動に伴って発生するごみのうち産業廃棄物以外のごみ	685g/人・日 (H33)	697g/人・日	703g/人・日	731g/人・日	726g/人・日	741g/人・日	令和元年度より15gの増加となった。年間ごみ総排出量45,713tを令和3年3月31日末人口169,013人で割っている。増加量は574tになる。
地場産物を使用する割合	学校給食課	学校給食における地場産物を使用する割合（使用している品目数/全体品目数）	20%(H35)	16.3% (H29)	16.30%	19.10%	19.40%	19.00%	健全いわた内(第3次食育計画)での指標。令和5年に20%を目標にしている。「ふるさと給食週間」の10日間で使用した食材すべてについて産地を記録し、品目数に占める市内産食材の割合を算出。
上水道有効率	上下水道 工事課	有効水量（有収水量+無収水量）/総給水量※有収水量：料金の対象となった水量※無収水量：料金徴収の対象とならないが、有効に利用された水量（消火栓等）	88.10%	86.90%	86.40%	86.50%	85.90%	86.60%	基準年度よりほぼ横ばい状態である。目標値までには1.5%の開きがある。 【R2】有効水量が横ばい状態の理由について 現在、老朽化した配水管の更新工事を重点的に進めているが、給水管も老朽化しており、目視で確認できる漏水は、随時修繕を行って減少傾向であるが、目に見えていない漏水が増えているためと考えている。
基本方針5 地球温暖化対策に取り組みます									
公共施設からの温室効果ガス削減率	環境課	市の事務及び事業に伴って排出される温室効果ガス排出量の削減率（対平成24年度比）※目標値は「磐田市地球温暖化実行計画（事務事業編）」に準じ令和元年度から、目標値は対平成25年度比に変更	4.7% (H30) 16.0% (R5)	▲8.1%	▲2.4%	5.40%	▲14.5%		環境マネジメントシステムのエコアクション21を取り入れ、市の事務事業に伴い排出されるCO2の削減を図っている。第2次磐田市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を平成31年3月に策定した。(期間：2019年度～2023年度)
エコアクション21認証登録の継続	環境課	市における環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証登録の継続※エコアクション21：環境省が策定したあらゆる事業者が効果的、効率的、継続的に環境に取り組むための仕組み	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	認証登録を継続	平成31年度は更新審査を受審し、「地方公共団体向けガイドラインに適合」の判定を受け、エコアクション21認定登録を行った。
住宅用太陽光普及率	環境課	太陽光発電設備（10kw未満）導入件数/世帯数※静岡県は、「ふじのくに新エネルギー等導入倍増プラン」で住宅用太陽光普及率10%（2020）を目標値として掲げている	12.00%	8.30%	8.75%	9.20%	9.71%	10.10%	住宅用太陽光発電設備を導入する市民に対し、20,000円(1世帯当たり1基)の奨励金を支給している。
基本方針6 環境教育を推進します									
環境教育に取り組む学校の割合	小学校	地球温暖化防止に関することなど環境教育に取り組んでいる小学校の割合※対象：公立小学校	100%	100%	95.45%	100%	100%	100%	全小学校で環境教育に取り組んでいる。引き続き環境教育に協力していく。(環境課)
学校給食における残菜量	学校給食課	小学校及び中学校における学校給食1回当たりの残菜量の合計※対象：公立小学校及び中学校	6kg/回	6.6kg/回	6.8kg/回	6.2kg/回	10.1kg/回	10.6kg/回	平成28年度実績から10%減少を目指した指標値※対象：公立小学校及び中学校の1回1施設当たりの食残の量。施設数は給食センターと単独調理場の計18施設。量るのは各学校。(3センターと、15の小中学校※磐田の教育P136)
協働による環境教育に取り組む園の割合	幼稚園 保育園 こども園	環境保全団体や地域と協働で環境教育に取り組んでいる保育園、幼稚園、こども園の割合※対象：公立保育園、幼稚園、こども園	100%	92.90%	92.85%	100%	100%	100%	全園で協働による環境教育に取り組んでいる。引き続き環境教育に協力していく。(環境課)

「磐田市環境市民会議ワークシート2」記入方法

- ◆ ワークシートは方針一つにつき「市の取り組み」1ページ、「事業者と市民の取り組み」が1ページという構成になっています。
- ◆ 「市の取り組み」では、市として特に皆様からご意見を伺いたい目標項目について現状と課題を取り上げています。委員の皆さんのご意見を自由にご記入ください。会議の中で意見交換をします。
- ◆ 「事業者と市民の取り組み」は、現在「第2次磐田市環境基本計画」に記載されている内容です。見直しの資料とするため、取り組みの重要度についてA・B・Cに○を付け、理由や問題点などを記入してください。また、取り組みに加えたい内容がありましたら、追記してください。

重要度・A（積極的に取り組むべき）
・ B（可能であれば取り組むべき）
・ C（あまり重要ではない）

- ◆ 会議の後、このワークシートは回収させていただきます。会議の場では伝えられなかったご意見も参考にさせていただきます。

委員氏名

1 基本方針4 3Rの取り組みや環境にやさしい消費行動を推進します

市の取り組み

現状と課題を参考に、ご意見を記入してください。

市の取り組み項目	市としてご意見を聴きたい項目の現状と課題
目標4-1 3Rの推進・廃棄物の適正処理 目標4-2 グリーン購入・地産地消等の推進 目標4-3 水循環の確保	<p>【現状】 レジ袋削減のために、本市では10年前からいわた消費者協会及び市内スーパー33店舗と協定を締結し、レジ袋有料化やマイバッグ持参運動などの啓発を行ってきました。市民に浸透したこともあり、協力店でのレジ袋辞退率は9割を超えるなど効果を上げてきました。</p> <p>【課題】 昨年7月の全国的なレジ袋有料化を踏まえた次の展開として、この協定を食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた新たな取り組みに発展させ、家庭や事業所から排出される食品ロス及びプラスチックごみの減量・資源化を推進していきたいと考えていますが、事業活動や日常生活での食品ロス及びプラスチックごみを削減するための取り組みについてご意見をお願いします。</p>
《意見》	

事業者と市民の取り組み

取り組みの重要度についてA・B・Cに○を付け、理由や問題点などを記入してください

重要度：A（積極的に取り組むべき）・B（可能であれば取り組むべき）・C（あまり重要ではない）

取り組み項目	市民	事業者	重要度 A・B・C	重要度Aとしたものについて 取り組むにあたっての問題点や改善案
◆ごみの分別と排出方法を守り、再資源化に努める。	○	○	A・B・C	
◆レジ袋削減のために、マイバッグ運動への協力や簡易包装を行う。	○	○	A・B・C	
◆食材の使い切りや食べ残しの削減、生ごみの水切りを行う。	○	○	A・B・C	
◆事業活動に伴い発生した廃棄物はマニフェスト制度に従い、最終処分まで責任を持って処理する。		○	A・B・C	
◆産業廃棄物管理責任者の設置や処理委託先の実施確認等を行う。		○	A・B・C	
◆不法投棄がされにくい清潔な環境を維持する。	○	○	A・B・C	
◆詰め替えや長寿命商品等、環境にやさしい製品やサービスを選ぶ。	○	○	A・B・C	
◆地元産の農作物を積極的に活用し、地産地消に努める。	○	○	A・B・C	
◆家庭、事業所内での節水に心がける。	○	○	A・B・C	
《その他、取り組みに加えたい事項》				

2 基本方針5 地球温暖化対策に取り組みます

市の取り組み

現状と課題を参考に、ご意見を記入してください。

市の取り組み項目	市としてご意見を聴きたい項目の現状と課題
目標 5 - 1 省エネルギーの推進 目標 5 - 2 地域の特色を活かした再生可能エネルギーの普及促進 目標 5 - 3 低炭素型社会の推進	<p>【現状】市は 2050 年カーボンニュートラル（脱炭素）を目指すことを表明しました。これに合わせ、「温暖化対策実行計画（区域施策編）」をこの環境基本計画に組み込む形で策定する予定です。磐田市の CO₂排出量は、部門別に資料②のとおりです。</p> <p>【課題】事業活動や家庭生活での CO₂排出量を削減するための施策について、ご意見をお願いします。</p>
<p>《意見》</p> <p>【第 1 回会議でのご意見】</p> <p>《小坂委員》温暖化防止活動の啓発が進んでいないように思う。危機感を感じる。</p> <p>《遠藤委員》エコアクション 21 では、形骸化しないよう、効果や指摘事項を共有し次につなげてほしい。</p> <p>《菊島委員》事業所内で、風力発電を取り入れている。また、敷地内は緑化を推進している。</p> <p>《大竹委員》市内企業も今後は C S R や地域循環共生圏への取り組みへとシフトしていく。市内企業の強みを生かし、市の環境課題とのマッチングができれば効果的であると考えます。</p>	

市民会議ワークシート2

事業者と市民の取り組み

取り組みの重要度についてA・B・Cに○を付け、理由や問題点などを記入してください

重要度：A（積極的に取り組むべき）・B（可能であれば取り組むべき）・C（あまり重要ではない）

取り組み項目	市民	事業者	重要度 A・B・C	重要度Aとしたものについて 取り組むにあたっての問題点や改善案
◆住宅用太陽光発電システムや家庭用蓄電池、住宅用太陽熱利用システムなどを導入する。	○		A・B・C	
◆こまめに電源を切るなど、無駄な電気使用量を減らす。	○	○	A・B・C	
◆「エコアクション21」などの環境マネジメントシステムの取得に取り組む。		○	A・B・C	
◆再生可能エネルギー施設の見学等を行い、理解を深める。	○	○	A・B・C	
◆高効率照明（LEDなど）や高効率給湯器（ヒートポンプ給湯器、潜熱回収給湯器）等の省エネルギー設備を積極的に取り入れる。	○	○	A・B・C	
◆クールビズやウォームビズに取り組み、適正な冷暖房の温度設定に努める。	○	○	A・B・C	
◆外出時にはマイカーの使用を控え、バスや鉄道等の公共交通機関の利用や、自転車・徒歩による移動を心がける。	○	○	A・B・C	
◆アイドリングストップや、急加速をせずに早めのアクセルオフを心がけるなどのエコドライブを実践する。	○	○	A・B・C	
◆スマートハウスの導入の検討、普及啓発をする。	○	○	A・B・C	
◆次世代自動車（EV、PHV、燃料電池自動車など）の導入をする。	○	○	A・B・C	
《その他、取り組みに加えたい事項》				

3 基本方針6 環境教育を推進します

市の取り組み

現状と課題を参考に、ご意見を記入してください。

市の取り組み項目	市としてご意見を聴きたい項目の現状と課題
目標 6-1 環境教育の推進 目標 6-2 環境保全活動の推進 目標 6-3 環境情報の活用と協働による環境施策の推進	【現状】 令和2年度に市と事業者等が連携し、小学生対象の環境学習メニューを作成しました。令和3年度から運用を開始し、3項の実実施実績があります。 【課題】 小学生の幅広い学習のため、メニューを充実させていきたいと考えており、特に市民団体と連携したメニューの追加について検討しています。どのようなメニューを追加していくことが良いか、ご意見をお願いします。

《意見》

【第1回会議でのご意見】

《北野委員》市内小学校で依頼され、環境教育を実施している。

《金原委員》ひょうたん池の自然環境を地元の小中学生の環境教育に活用している。

市民会議ワークシート2

事業者と市民の取り組み

取り組みの重要度についてA・B・Cに○を付け、理由や問題点などを記入してください

重要度：A（積極的に取り組むべき）・B（可能であれば取り組むべき）・C（あまり重要ではない）

取り組み項目	市民	事業者	重要度 A・B・C	重要度Aとしたものについて 取り組むにあたっての問題点や改善案
◆自然観察会や体験教室、環境保全講演会等に積極的に参加する。	○	○	A・B・C	
◆環境に関心を持ち、生涯を通じて環境教育・環境学習に取り組むよう心がける。	○	○	A・B・C	
◆従業員に対する環境教育を行う。		○	A・B・C	
◆学校や保育園、幼稚園、こども園等の環境教育の取組みに協力し、資料提供・講師派遣や施設見学等を実施する。		○	A・B・C	
◆環境についての情報を広く収集し、情報提供に協力する。	○	○	A・B・C	
◆環境保全団体に参加する。	○	○	A・B・C	
◆環境市民会議に参加する。	○	○	A・B・C	
◆環境基本計画に関心をもち、市民や事業者の取組みを实践する。	○	○	A・B・C	
《その他、取り組みに加えたい事項》				

